

2020年度 事業計画書

公益財団法人国際港湾協会協力財団

本財団は、国際港湾協会(以下「IAPH」という。)の目的を達成するために、IAPH・財団間の合意に従い、IAPH 本部事務局の活動を支援すること等により、国際的な港湾の振興及び国際親善の増進に寄与することを目的としている。

この目的を達成するために、以下の事業を行う。

- (1) IAPHとの合意にもとづき、IAPH 本部事務局の事務を行い、また必要に応じIAPHに協力し、その事業の遂行を援助する。
- (2) 港湾に関する内外の文献を内外の関係者に紹介する。
- (3) 内外の港湾関係者による港湾の事情調査に協力する。
- (4) その他、財団の目的を達成するために必要な事業を行う。

上記に基づき、本年度の事業を次のとおり計画する。

【公益目的事業】

① IAPH 本部支援事業

1. IAPH 本部事務局活動の支援をとりおこなう。
2. 本年3月にベルギー国アントワープで開催されるIAPH アントワープ総会 2020について 国内の関係者に周知を図り、総会の成功に協力して行く。
3. 日本語のホームページの内容充実を引き続き図り、日本国内におけるIAPH 活動への理解を促進する。
4. 引き続きIAPH 日本会議の活動を支援する。
5. IAPH 本部事務局に集まる各種資料の整理・保管を行うほか、積極的に内外の港湾関係資料を収集して港湾関係者や不特定多数の利用者のための資料閲覧の便を図る。
6. 内外港湾関係者の港湾事情などの調査に際し、随時適切な協力を行う。
7. 港湾に関する国際的な課題について調査事業を行い、日本国内の関係者に紹介する。

8. 木本基金

ご寄付いただいた故木本英明様のご遺志と当財団の目的に従い、本年度は IAPH 総会 (Women's Forum 等)の会議に参加する国内の若手港湾関係者(女性)の渡航費用及び会議参加費用に本基金を適用し、支援を行う。

② 日本セミナー事業

IAPH 総会への参加を促進するとともに、国内の会員をはじめとする港湾関係者等の幅広い分野の方々への情報交換及び相互親交の便を図るため、従来の「IAPH 日本セミナー」に加えて「秋季 IAPH セミナー」を開催し講演会を充実する。

なお、本年度日本セミナーには、IAPH Board member の中から 1 名を講師として招聘する。

③ 国際港湾経営推進基金

IAPH 日本会員である港湾管理者等を対象として、要望の強い国際港湾経営に関する国内及び海外での研修活動を実施する。

また、アントワープ総会へ若手港湾関係者 2 名を派遣するため渡航費用及び会議参加費用の支援を行う。

なお、本基金での国際港湾経営研修は、2020 年度をもって目標とした 10 回目を迎えたことから一応の区切りとし、新たな研修のあり方等について検討を行う。

④ 秋山賞支援基金

IAPH 総会にて行われる発展途上国の会員を対象とした論文コンテストでの優勝者へ賞金援助等を行う基金であるが、本年度は総会年ではないため、本基金の適用 は行わない。

【収益事業】

本年度も収益事業は計画しない。

以上